

平成26年度 事業報告

主な事業概要について

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

日本は世界有数の自然災害発生国です。平成26年度も日本列島は様々な災害に見舞われました。例を挙げれば、7月に長野県木曾郡南木曾町での土石流、8月には広島市で土砂災害が発生しました。岐阜県内においても、8月の高山市での豪雨災害、9月の御嶽山の噴火といったところは皆さんの記憶にもあるかと思います。災害時における建設業の社会的使命を果たすため、岐阜県建設業協会では「広域BCP」を策定し、平成26年4月1日より運用が開始され、7月29日より「広域BCM」の認定を受けられました。

しかし、地域の安全・安心を守るという重要な役割を担う建設業従事者は年々減少傾向にあります。国勢調査によると、平成12年には約11.6万人であった従事者が、平成22年には8.4万人と約3割の減少となっています。さらに、少子高齢化や若者の魅力ある労働感覚の違い等から、次世代を担う人材確保が難しい状況下にあると認識しております。建設産業全体の課題である『技術の伝承』の為にも、若年層の入職促進は欠かせません。

当協会では若年層入職促進のため、平成13年から続けております建設技術講習会を26年度も岐南工業高校、可児工業高校、飛騨高山高校の3校で実施しました。岐阜社会基盤研究所主催の研究発表会では『若年層入職促進のための今までの取り組み』と題して研究発表も行いました。

また、8月の設立記念日には各技術委員会より研究成果を発表することが出来ました。発表内容のテーマ選定は、効率的かつ有効な手段の提案・提言を行う公益機関としての役割を常に意識するものとなりました。

トンネル技術委員会

1. 活動方針

トンネルの維持修繕や環境問題及び新工法に関して調査研究を行い、県内業者の技術力向上を図る事と、適正工法の研究等を行い、トンネル施工に関してより質の高い社会資本整備・公共福祉の増進に寄与する事を目的としました。

2. 活動内容

県内業者の技術力向上の為に、以下のような活動を行いました。

I. トンネル見学会の開催

濃飛横断自動車道 和良金山トンネルの見学会を行いました。

II. 技術発表会（当協会主催）への参加

『転石が介在する低土被り部の NATM 施工』の発表を行いました。

III. 第12回研究発表会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

岐阜大学サテライトキャンパス（4階多目的講義室）

IV. 建設技術講習会への参加

岐阜県立岐南工業高等学校 土木科1年生40名対象で『社会基盤を支えるトンネル技術者』というテーマで講習を行いました。

ダム技術委員会

1. 活動方針

ダム工事及び砂防ダム工事に関する新技術、新工法、環境・水質保全対策等を調査研究することにより、会員相互の技術力の向上を図る事を目的としました。

2. 活動内容

I. 技術発表会（当協会主催）への参加

『H型鋼スリットダムについて』というテーマで、スリットダムの現状について、スリットの機能を維持しながらのH鋼を使用することによるコスト削減、H鋼材料の衝撃実験及び結果、過去に試験施工した2現場（中津川市加子母白谷、郡上市八幡町犬啼谷）の現地調査結果、今後の委員会としての活動について発表しました。

II. 研究テーマ自由討論会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

『H型鋼スリットダムについて』の発表を行いました。スリットダムの現状、スリットの機能を維持しながらのH鋼を使用することによ

るコスト削減、H鋼材料の衝撃実験結果、過去に試験施工した2現場(中津川市加子母白谷、郡上市八幡町犬啼谷)の現地調査結果、今後の委員会としての活動について発表しました

Ⅲ. 第12回研究発表会(岐阜社会基盤研究所主催)への参加
岐阜大学サテライトキャンパス(4階多目的講義室)

Ⅳ. 建設技術講習会への参加

岐阜県立飛騨高山高等学校 環境科学科2年生36名対象で、『環境にやさしいダム造り』というテーマで講習を行いました。この講習では環境をキーワードとして、過去の災害事例をとらえてダムの必要性、種類、施工中における環境配慮、また、砂防ダムの施工方法や種類について説明しました。後日、ダムについて質問があり回答を送りました。

下水道技術委員会

1. 活動方針

近年、下水道施設の劣化が進み、耐震対策及び維持・修繕(更生)の課題が多い中、新技術等を採用した施工が県内企業にて出来るよう考案・研究し、技術力の向上を目的としました。

2. 活動内容

Ⅰ. 下水道の維持・修繕(更生)工事に関する施工方法の検討

管更生工法や各施設の修繕方法の情報収集を行い、新技術を研究し、技術力の向上を目指しました。

Ⅱ. 自然災害に対応した、下水道の検討(地域にあった製品の模索)

県内企業で出来る新技術(製品)の施工習得のため、情報収集を行い、研究し各委員の技術力向上を目指しました。また、地域にあった施工方法や製品の特長を把握するよう活動しました。

Ⅲ. 施工・製品の新技术の開拓

各講習会や展示会などに各委員が積極的に参加・取り組みを行い、有益な情報を取得し、研究テーマに活かしました。平成26年7月22日～25日に実施された下水道展（大阪）に参加し新技术等の資料収集を行い、今後の研究に活用します。

Ⅳ. 建設技術講習会への参加

岐阜県立可児工業高等学校 建設工学科1・2年生76名対象で、『子孫に残そう美しい環境』というテーマで講習を行いました。

Ⅴ. 技術発表会（当協会主催）への参加

『下水道管のリニューアル』の発表を行いました。

Ⅵ. 第12回研究発表会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

岐阜大学サテライトキャンパス（4階多目的講義室）

橋梁技術委員会

1. 活動方針

県内建設企業の技術力向上を目指すと共に、会員相互のコミュニケーションをはかり、情報交換を密にして、発注者に対して技術力をアピールし、地域への貢献につながるように活動しています。また、「環境共生型簡易縦坑掘削システム」の実用化に向けて検討する活動をしました。

2. 活動内容

Ⅰ. 環境共生型簡易縦坑掘削システムの試験施工と分析

2回目となる試験施工を、NEXCO 中日本発注現場（当協会員受注現場）において実施しました。また、深礎鉄筋組立の縦坑外での試験施工も実施しました。

Ⅱ. 研究テーマ自由討論会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

『深礎杭の環境共生無人化システムの実用化開発研究』というテーマで、現在までの試験施工の内容とその分析、今後の取組について

発表しました。また、掘削システムについて実用化に向けた検討、意見交換をおこないました。

Ⅲ. 建設技術講習会への参加

岐阜県立可児工業高等学校 建設工学科1・2年生76名対象で、『橋梁とは！？』というテーマで講習を行いました。

Ⅳ. 技術発表会（当協会主催）への参加

『環境共生型簡易立坑掘削システム』の発表を行いました。

Ⅴ. 第12回研究発表会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

岐阜大学サテライトキャンパス（4階多目的講義室）

自然共生技術委員会

1. 活動方針

自然共生技術委員会は、2つの活動を中心に実施してまいりました。1つ目は近い将来建設業に携わる可能性のある学生を対象にした出前講習の「建設技術講習会」です。2つ目は自然共生という考えの原点にたち、建設工事と自然との関わりについて様々な情報収集を行い調査・研究する「現場で取り組む自然共生活動」です。

2. 活動内容

Ⅰ. 建設技術講習会への参加

岐阜県立岐南工業高等学校 土木科1年生40名対象で『「地域を守る建設業」～防災と豊かな自然との共生のために～』というテーマで講習を行いました。高校生に対しわかりやすく、建設業が地域の安全や環境を守るため、大いに活躍している大切なやりがいのある仕事であることを強調して、土木という進路を積極的に検討するように、講習を行ってまいりました。

Ⅱ. 「現場で取り組む自然共生活動」について調査・研究

建設工事現場において今までに実施された施工場所に生息する生物

の保護活動や調査事例の情報収集し理解を深めました。また、自然共生に関する知識を向上させるため平成26年9月5日に「自然共生型河川工法と生物の保護活動等について」と題して勉強会を開催し、独立行政法人 土木研究所 自然共生研究センターにてセンター長 萱場祐一氏より講義を受けました。そして、平成26年11月4日に福富川で実施された水生生物調査へ参加して調査活動体験をしました。

Ⅲ. 第12回研究発表会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加
岐阜大学サテライトキャンパス（4階多目的講義室）

Ⅳ. 技術発表会（当協会主催）への参加
『現場で取り組む自然共生活動』の発表を行いました。

安全・環境委員会

1. 活動方針

社会基盤整備・維持管理の担い手として、労働安全・環境の改善策の提案・指導、意識の向上及び自然環境問題への対応・改善を目的に活動致しました。

2. 活動内容

Ⅰ. 安全・環境パトロールの実施

安全対策、省資源・省エネルギーへの取り組み、環境汚染の防止対策、自然環境への取り組み等をチェックシートに基づき指導・改善を行いました。

Ⅱ. 合同安全講習会に参加

労働災害の防止についての研修を行いました。

Ⅲ. 第12回研究発表会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加
岐阜大学サテライトキャンパス（4階多目的講義室）

IV. 電子マニフェスト普及拡大に向けての勉強会開催

V. 建設技術講習会への参加

岐阜県立飛騨高山高等学校 環境科学科 2年生 36名対象に『現場における安全と環境に対する取組み』というテーマで講習を行いました。

VI. 技術発表会（当協会主催）への参加

『現場における安全環境に対する取組』の発表を行いました。

企画広報委員会

1. 活動方針

各委員会における研究・開発の成果を研修会等の企画・開催をすることにより建設産業の役割、地域の基盤整備に貢献・社会のニーズに応えるべく活動をしてまいりました。

また、公益法人としての事業目的の一つとして「学校関係者及び生徒に建設技術の素晴らしさを広く学ぶ機会を創出する」ことの趣旨に則り、各委員会における活動・研究の成果等を高校に講師を派遣し、建設技術講習会の開催をしました。

2. 活動内容

I. 建設技術講習会の開催

- 1) 平成26年7月7日に岐阜県立岐南工業高等学校において講習会を開催しました。
- 2) 平成26年9月25日に岐阜県立可児工業高等学校において講習会を開催しました。
- 3) 平成26年10月30日に岐阜県立飛騨高山高等学校において講習会を開催しました。

- Ⅱ. 第12回研究発表会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加
岐阜大学サテライトキャンパスにおいて企画広報委員会より『若年層入職促進のための今までの取り組み』と題し研究発表を行いました。
- Ⅲ. 広報活動の実施
各委員会の活動を一般の方々へ広く知っていただくためにパンフレットの作成、自前のホームページの運用や当協会における活動・研究の成果などを岐阜県庁はじめ各土木事務所・農林事務所等を表敬訪問し、広報活動に努めました。
- Ⅶ. 技術発表会（当協会主催）への参加